

公益財団法人中東調査会  
令和5年度定時理事会議事録

1. 開催日時 令和5年6月8日（木） 午後2時58分から午後3時36分
2. 開催場所 公益財団法人中東調査会 会議室
3. 理事・監事数及び出席理事・監事数  
理事現在数 5名、監事現在数 2名  
出席理事数 5名（定足数3名）  
出席監事数 2名
4. 出席した理事の氏名（役職順、氏名50音順）  
佐々木 幹夫 会長（代表理事）、齋木 昭隆 理事長（代表理事）、浅子 清 副理事長（業務執行理事）、山内 昌之 常任理事（理事）、細野 哲弘 常任理事（理事）
5. 出席した監事の氏名  
藤崎 一郎、越 和夫
6. オブザーバーの氏名  
公益財団法人中東調査会特別顧問 有馬龍夫  
外務省中東アフリカ局中東第一課上席専門官 山本英昭
7. 議長の氏名  
齋木 昭隆
8. 議題
  - I. 審議事項  
第1号議案 令和4年度事業報告書（案）  
第2号議案 令和4年度決算報告書（案）  
第3号議案 顧問の交代（案）  
第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等（案）
  - II. 報告事項

その1 会員の動向

その2 職員の動向

Ⅲ. その他

## 9. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

### (1) 開会

冒頭、佐々木 幹夫会長からの挨拶に続いて、定款第46条第2項に則り齋木 昭隆理事長が議長として開会を宣し、定足数の充足と、定款第51条に基づき議事録署名人を佐々木 幹夫 会長、齋木 昭隆 理事長、藤崎 一郎 監事、越 和夫 監事とすることを確認したうえで、議案の審議に入った。

### (2) 議案の審議状況及び議決結果等

#### I. 審議事項

##### 第1号議案 令和4年度事業報告書（案）

本議案は、本理事会の決議を経て定時評議員会の承認を受けるものである。

議長の指示により、青木 健太 研究主幹が議案についての説明を行い、議長が議場に諮ったところ、本議案は満場一致で原案どおり承認可決された。

##### 第2号議案 令和4年度決算報告書（案）

本議案は、本理事会の決議を経て定時評議員会の承認を受けるものである。

議長の指示により、金子 真夕 事務局長が決算報告書について説明を行い、次いで、越 和夫 監事から、監査の方法及びその内容ならびに監査意見として、事業報告書は法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めること、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められないこと、また、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める旨の監査報告がなされた。

議長が議場に諮ったところ、本議案は満場一致で原案どおり承認可決された。

### 第3号議案 顧問の交代（案）

議長の指示により、伊藤事務局長代行より顧問の辞任・選任に関する説明がなされ、審議が行われた。

	氏名	現職	日付
辞任	高原 一郎	丸紅株式会社副会長	令和5年3月31日付
選任	広瀬 直	丸紅株式会社常務執行役員	令和5年4月1日付
辞任	佐々木 伸彦	独立行政法人日本貿易振興機構顧問	令和5年度定時理事会の 終結
選任	石黒 憲彦	独立行政法人日本貿易振興機構理事長	令和5年度定時理事会の 終結

顧問の任期は、顧問・参与規程の定めにより、前任者の任期の残存期間、すなわち、令和6年3月31日まで

審議の結果、本議案は満場一致で原案どおり承認可決された。

### 第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等（案）

議長の指示により、伊藤事務局長代行から、定時評議員会の招集に関し、定款第21条第1項に基づき本理事会の承認を求める旨の議案説明があった。

#### 記

1. 定時評議員会の日時及び場所
  - (1) 日時：令和5年6月27日（火）午後3時から午後4時30分まで
  - (2) 場所：東京都千代田区平河町1-1-1 平河町コート6階  
公益財団法人中東調査会 会議室
  
2. 定時評議員会の目的である事項
  - (1) 決議事項
    - 第1号議案 議長の選出
    - 第2号議案 議事録署名人の選出
    - 第3号議案 「令和4年度事業報告書及び決算報告書」の承認
  
  - (2) 報告事項
    - 報告事項その1 顧問の交代

- 報告事項その2 会員の動向
- 報告事項その3 職員の動向
- 報告事項その4 令和5年度定時理事会の決議内容

以上

上記について審議の結果、本議案は満場一致で原案どおり承認可決された。

## II. 報告事項

齋木 昭隆 代表理事および浅子 清 副理事長・業務執行理事から、定款第35条に基づく代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の理事会への報告として次の報告が行われ、出席した理事及び監事の全員が了承した。

### 報告事項その1 会員の動向

「賛助会員数の動向」

	令和3年度末	令和4年度末	増減
法人会員	102 法人	105 法人	3 法人 (増加)
個人会員	222 人	216 人	6 人 (減少)

### 報告事項その2 職員の動向

金谷 美紗 上席研究員の退職

上席研究員の金谷 美紗（平成26年10月1日付採用）が、令和5年3月31日をもって、自己都合により退職した。

高岡 豊 協力研究員との業務委託契約

高岡 豊 協力研究員（令和2年3月31日まで当会主席研究員）と業務請負契約を締結した。業務内容は、レバノン、シリア、イラク、パレスチナの日誌作成業務、その他当会の運営にかかわる業務。

## III. その他

藤崎監事より、昨今、中東地域で地殻変動が生じているように見受けられるが、中東調査会としての見解はどのようなものかと質問があった。また、藤崎監事より、かかる状況下、実績ある中東調査会として中東地域秩序の変容について包括的な研究を行い、座談会や共著論文などの形式で対外発信してはとのコメントがあった。

これに対して、青木研究主幹より、米国の外交政策における中東の重要性の低下、並行する中露の台頭の中で構造的な転換が起こっているように見受けられるが、一

方で米国と湾岸諸国の関係は依然強固である旨述べた。また、齋木理事長より、中東諸国にとり自国の安全保障を第一に考えるのは自然の流れであり、中東諸国は現在国際環境の変化を受けて臨機応変に対応している、とはいえ中国が直ちに米国に取って代わるわけではないだろうと見ている、と述べた。さらに齋木理事長より、過去に中東各国に駐筈されている我が方大使との鼎談を、メディアも絡める形で行い好評を得たことがある。中東地域秩序の変容に関する鼎談や、研究員による共同執筆など、変動する中東情勢に関する分析のタイムリーな発信を行う計画であり、その具体的方法については検討中である旨応えた。

また、藤崎監事より、最近、紙離れが進む中、『中東研究』の成果を広く社会に知らしめるために表紙のデザインや色を変えるなど読者獲得に向けた工夫をしてはとの提案がなされた。

これに対して、有馬特別顧問より、『中東研究』は実務家のみならず学術分野でも高い評価を得ている学術誌であり、従来の姿勢を変えずに続けることが大切であるとの意見が出された。

細野常任理事より、今中東では新たな原料として水素、アンモニア、メタルが注目を集めている、中東調査会は政治・外交・軍事のテーマを中心に調査研究をしてきたが、今後、経済動向を分析テーマに加えてはとの提案があった。

また、細野常任理事より、トップ・ミーティングの収支が赤字のようだが、その支出のほとんどは会場借料であるため、会場変更など経費削減案も検討してはとの意見が出された。

これらに対して、齋木理事長より、貴重なコメントに感謝申し上げる、経済動向の分析は重要であり今後内部で慎重に検討する、トップ・ミーティングについては経費削減の観点のみならず会場変更によって生じ得る負の影響も勘案して対応したい旨応答した。

### (3) 閉会

以上をもって、本日の会議の目的をすべて終了した。最後に、佐々木会長からの閉会の言葉により本理事会は終了し、議長は散会を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和5年6月8日

代表理事・会長 佐々木 幹夫 印

代表理事・理事 齋木 昭隆 印

監事 藤崎 一郎 印

監事 越 和夫 印

別紙

令和4年度事業報告書（案）

令和4年度決算報告書（案）

以上